

磐城時報

編輯人 阿部 弘成 印刷所 磐城時報社 電話 一四三三

合同問題について 濱通銀行重役會議

濱通銀行重役會議は十九日午後一時、平町警察署内銀行合會で...

各炭礦の協調協議

石城郡内の各炭礦では毎月各會社代表が集合し操業上諸般の協議打合せをなした...

平郵便局で健康相談所設置

現在の加入者一萬四千人

平郵便局に於ける昭和二年度の加入者数は三萬五千五百...

寄附請願

植釜町に設置した霧笛信號は、正十五年八月本縣水産會に...

伊藤技師來郡

伊藤技師は十八日來郡し郡農會大山技師と共に平窪村に至り...

阿部町議 辭職慰安會

阿部町議の辭職慰安會は、平町町議阿部政右衛門氏を過般町會の漁船を益するのみならず...

又料理店にチブス發生

平町町料理店かすみ高木伊勢松二男重夫(一〇)は十七日午後...

花見時に珍らしい寒さ

平町の櫻はさきに報導せる如く去る十五日の日曜日を以て三四分の咲きであらうとの想像を裏切...

小名濱測候所調査

平町の櫻はさきに報導せる如く去る十五日の日曜日を以て三四分の咲きであらうとの想像を裏切...

本社長歸平

藤作平氏は過般來大阪、京都方面の視察旅行中であつたが十八日午前歸平した。

鯉釣大會

後藤に於て來る廿二日(日曜)日午午前歸平した。

惱ましき春の誘惑

春が訪れ既に櫻も咲いて人心が那龍町新藏二女佐藤(一四)極度に浮き立って...

メツキリ増えた家出人

平町警察署に舞ひ込む(願人主人青山金司)耶摩郡加納村鈴木(二三)は情夫澤...

次の日曜日は桃の節句

平町の櫻は昨今漸く見頃に入り二十二日の日曜日はその絶頂に達する事と豫想されて...

假装して丸はん観櫻會

平町三丁目丸はん家具漆器店員並に製作所員五十余名は十八日午後一時から各自に假装をなし...

盜癖ある青年

平町に捕はる石城郡輪村大字高野高秋喜久郎(一九假名)は去る九日夜内郷村警署に...

刑事を稱し料理屋を脅す

花時となつて平町南町料理店、飲食店等へ刑事又は警察官を詐稱して無銭飲食をなすものがある...

幼兒轍かる

内郷村大字白水不動澤炭礦居住酒井やす私生兒(三三)は十五日午前九時四十分頃同礦軌道線路附近で遊戯中炭車に觸れ即死した。

山口郡 前借金費消

山口郡八島ハルは十八日平署に出頭し娘いね(十九)が平町周旋業山口郡四郎に誘惑され姦姦となり前借金山口が全部費消してしまつたと訴え出たので平署で目下眞偽調査中である。

昭和三年度 春の粧ひ！
新柄が豊富に取揃へました是非御覧下さい

新模様銘仙 館京御召 陳小紋錦紗 列帯 側

平町 三井呉服店 電話三八七五一

盛装して 妻が縊死

内郷村大字宮字竹の内土木請負員山崎雄内縁の妻古川はつ(三三)は十六日午後四時頃自宅奥印刷物は 加納活版所

次女康子来る二十二日は舊三月三日の節句に相当り居候處勝手乍ら雛人形其他贈物の儀固く御辭退申上候

丸はん 佐々木俊男 平町三丁目

江戸前 魚御料理 蒲焼 うなぎ井 平町南町 魚 榮 電話四二四番

ユラノスケ瓶詰 花見大賣出し 空瓶交換のレツタルなしに 四合瓶詰一本 四十三銭 二合瓶詰一本 二十二銭 大口の御注文は成る可く前日迄に御申込み下さい

水光齊祐月 雛人形小道具一式 大勉強賣出し 平町 陳野洋品店 二丁目

牛豚肉特價

牛中肉	同	金三十三
牛上肉	同	金五十五
豚中肉	同	金七十五
豚上肉	同	金九十五
口上肉	同	金六十
口上肉	同	金五十五
口上肉	同	金三十三

平町停車場前(平劇場入口) 廉賣王 深谷牛肉店 電話五二四番

春物御案内

- 婦人洋服
- 子供服
- 合着毛シャツ
- 春帽
- ワイシャツ

各種店内ニ陳列致シマシタ

店商ヤルツに 平町 電話四百四十四番

眼樂亭久月 特製雛人形賣出し

平町三丁目 金太郎玩具店

印刷物の御用は...加納活版所

京都齊ヒナ人形 大安賣

小道具一式 玩具行商人數名募集 平町二丁目 いづつや

大黒屋支店

四月十四日より十八日迄五日間 銘酒 酔の郷 一升壹圓五十銭ヲ壹圓貳拾銭 同 都々逸 一升壹圓ノモノヲ八拾銭 尙發出期間後も五合現金買上毎に謝恩券二枚ニテ 酒一合ト交換贈呈

大黒屋支店 電話三〇六番

外科専門

入院隨意 上田外科醫院 南町電二二九

磐城病院

入院隨時 電話一四四番

原齒科醫院

平町土橋通り 電話三一三番

大和田醫院

耳鼻咽喉科 電話一七〇番

高久病院

内科・外科・耳鼻 咽喉科・花柳病科 院長高久忠 平町電話一三五

藤沼醫院

内科・外科 淋病・梅毒科 平町細屋町 電話五〇七番